

地域生活支援拠点等の機能・取組状況の検証・検討シート(令和6年度)

◆障害福祉計画における地域生活支援拠点等の目標について

項目	令和6年度	
	見込量	実績値
地域生活支援拠点等 (緊急時の受け入れ事業所数)	2か所	9か所
検証及び検討回数	年1回	1回

◆茅ヶ崎市の取組状況

地域生活支援拠点等の機能	取組状況
【相談】 緊急対応などの支援が必要な障がい者等からの緊急時を含む相談体制の確保	・委託相談支援事業所4か所により相談支援体制を確保。 ・令和5年10月より基幹相談支援センターを設置。 ・6年度より相談支援部会において相談支援体制について協議中。
【緊急時の受け入れ・対応】 緊急対応など支援が必要な障がい者等の緊急時の受け入れ先の確保	「安心生活支援事業」において緊急時受入の仕組みを設けており、令和6年度は登録事業所を4ヶ所から9ヶ所に拡大(放課後等デイサービス事業所、グループホーム4ヶ所)。
【体験の機会・場の確保】 地域生活への移行や継続のニーズを踏まえた地域生活の体験宿泊等の実施	「安心生活支援事業」により、医療的ケアが必要な障がい児を対象に、平成29年度から放課後等デイサービス事業所を拠点として体験的宿泊機能を確保(令和2年以降コロナにより実施見合わせ中)
【専門的人材の確保・養成】 専門性の確保に向けた取組の実施	・発達障がい専門相談事業 相談員による相談支援事業所への巡回相談 9事業所×年3回+1事業所×年2回 事例検討会:開催回数 3回、参加者数 22人 研修会: 開催回数 4回、参加者数 117人 窓口相談:開催回数 6回(延べ8事業所) ・自立支援協議会主催研修会「現場での実践事例から学ぶ! 本人の意思を引き出す意思決定支援とは?」 参加者数 29人
【地域の体制づくり】 障がい者等の地域生活のニーズを踏まえた地域の体制づくりの実施	・自立支援協議会 開催回数 40回(全体会1回、代表者会議3回、運営会議4回、部会・プロジェクト31回、交流会1回) ・茅ヶ崎・寒川ホーム連絡会 開催回数 2回 ・茅ヶ崎市相談支援事業所連絡会 開催回数 4回 ・茅ヶ崎市、寒川町障害児者通所事業所連絡会 開催回数 6回 ・茅ヶ崎市障害者施設連絡会 開催回数 4回 ・茅ヶ崎市・寒川町居宅介護事業所連絡会 開催回数 4回 ・茅ヶ崎市地域作業所連絡会 開催回数 4回

◆市による自己評価

・相談については、令和5年10月に基幹相談支援センターを設置し、6年度から相談支援部会において相談支援体制について協議を行っている。また、緊急時に備えた相談機能のありかた等について地域生活支援拠点等整備進化プロジェクトにおいて協議を行う。

・緊急時の受け入れ・対応については、事業所への働きかけにより令和6年度は5か所増やすことができた。今後、さらなる充実に向け、引き続き事業所への働きかけを行う。あわせて、利用者への周知を進める必要等があるが、地域生活支援拠点等整備進化プロジェクトにおいて事業の整理を行ったうえで進めたい。

・体験の機会・場の確保については、既存の制度運用をストップしている状況であるため、地域生活支援拠点等整備進化プロジェクトにおいて事業の整理を行ったうえで進めたい。

・専門的人材の確保・養成については、発達障がい専門相談事業や自立支援協議会において意思決定支援の研修等を実施した。なお、人材の確保については、大きな課題と捉えており、今後は事業所の方々へのヒアリングやアンケート等を通じて何を行うべきか道筋をつけ、事業所の方々と連携を図りながら取り組んでいきたい。

・地域の体制づくりについては、自立支援協議会を中心に、各種連絡会等により関係機関とのネットワークの構築が図られているが、今後は地域生活支援拠点事業の周知を行い、日頃からの連携体制の強化を図りたい。

・6年度の地域生活支援拠点等整備進化プロジェクトにおいては、先進市や専門家からのレクチャーを受けた上で理想の機能の抽出、各機能において何から行うべきか等の整理を行った。7年度は各機能について深く議論を行い、プロジェクトで決定した事項について順次実行していきたい。

◆茅ヶ崎市自立支援協議会代表者会議委員からの意見

◆茅ヶ崎市自立支援協議会代表者会議委員からの意見を踏まえた検討状況